

平成 25 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 セイコーエプソン株式会社
代表者名 代表取締役社長 碓井 稔
(コード番号：6724 東証第一部)

平成26年 3 月期第 2 四半期（累計）および通期連結業績予想の修正
ならびに営業外費用の計上に関するお知らせ

平成25年 4 月30日に公表しました平成26年 3 月期連結業績予想の修正および営業外費用の計上
につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年 3 月期連結業績予想の修正について

(1) 第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正（平成25年 4 月 1 日～平成25年 9 月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回公表予想（A）	百万円 430,000	百万円 3,000	百万円 1,000	百万円 △5,000	円 銭 △27.95
今回公表予想（B）	450,000	13,000	9,000	1,000	5.59
増減額（B－A）	20,000	10,000	8,000	6,000	－
増減率（％）	4.7	333.3	800.0	－	－
（ご参考）前年同期実績 （平成25年3月期第2四半期）	388,273	△14,142	△14,193	△35,447	△198.15

(2) 通期連結業績予想の修正（平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想（A）	百万円 910,000	百万円 33,000	百万円 30,000	百万円 13,000	円 銭 72.67
今回公表予想（B）	930,000	37,000	33,000	15,000	83.85
増減額（B－A）	20,000	4,000	3,000	2,000	－
増減率（％）	2.2	12.1	10.0	15.4	－
（ご参考）前期実績 （平成25年 3 月期）	851,297	21,255	17,629	△10,091	△56.41

(3) 修正の理由

上期業績（第2四半期（累計））につきましては、当第1四半期での円安効果による収益拡大に加え、情報関連機器で新興国市場向け大容量インクタンクモデルの販売が計画を上回る状況にあるほか、北米市場においてオフィス向けインクジェットプリンターの稼働台数の増加により、消耗品の売上が好調に推移するとともに、欧州市場においても消耗品の販売が堅調であり、デバイス精密機器でも半導体やウオッチの売上拡大が見込まれることから、売上高および各利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

また、下期業績につきましては、インクジェットプリンターで大容量インクタンクモデルに加え、消耗品の売上増加のためにオフィス向け本体の販売拡大に取り組む一方、デバイス精密機器での一部アプリケーションの需要減退のほか、中国経済の成長鈍化や欧州での景気回復の遅れの影響などが見込まれることから、前回予想に対して売上高は据え置くものの、営業利益などの各利益は減少する見通しとなりました。

以上の見通しを踏まえ、通期業績予想につきましては、上記(2)のとおり前回予想から上方修正いたします。

2. 営業外費用の計上について（連結）

昨今の為替相場の変動を受け、一部先行して実施していた為替予約の影響などにより、3,714百万円の為替差損を当第1四半期の営業外費用として計上いたしました。

以 上